

LPガスCP情報(2015年11月積み)

1. 11月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **395** ドル (前月比 +35 ドル)

ブタン **435** ドル (前月比 +70 ドル)

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況の上下動に追随、LPガススポット市況は第2週をピークに軟化した。価格差縮小で米国のアーブ玉は減少傾向にあったが、中東各国のスポット供給も潤沢でバランス。中国のPDHプラントはプロピレン市況軟化で稼働が落ちプロパン需要は低調、ナフサ安で石化用ブタン需要も期待薄。CP先物は、第4週末プロパン365 ドル 、ブタン385 ドル に軟化、極東CFR市況もフレート市況の軟化を受け第4週でプロパン440 ドル 、ブタン460 ドル どころ。成約の中心は11月CPプラス70 ドル 、プロパン単体ではCPプラス60 ドル 台後半。ナフサは原油市況に連れ上げ下げ、440~485 ドル 台で推移し月間平均では455 ドル 、前月比15 ドル の上昇。バンカーオイルは原油市況に追随し、初旬は上昇260 ドル まであげたが、後半は230 ドル 台で推移。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、全米プロパン在庫が過去最高水準まで積み上がり、26日にはプロパン217 ドル まで下落した。NWE(北西ヨーロッパCIF)市況は、第4週は続落、プロパン330 ドル 、ブタン370 ドル に下げている。

11月CPは前年同月比プロパン215 ドル 、ブタン165 ドル のそれぞれ下落。マーケットの当初見込みより25~45 ドル どころ高値設定となった。発表が1日にずれ込むのも異例。

| | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 平均 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| フレート | 75 | 81 | 80 | 74 | 78 |
| CP先物指標：P | 360 | 380 | 370 | 370 | 370 |
| CP先物指標：B | 365 | 395 | 390 | 390 | 385 |

② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは10月44 ドル 台でスタートし、米国石油掘削リグ数の減少やロシアによるシリアへの軍事介入を受け9日には49.63 ドル まで上昇したが、OPECの高水準生産や中国経済減速による需要減退懸念など世界的供給超過の解消に時間がかかるとの見方が強まり、下旬には対ユーロドル高もあって8月27日以来の43 ドル 台に軟化した。急落後の28日はEIA統計で石油製品在庫、クッシング在庫の減少を受け45 ドル 台に反騰、リグ稼働数の減少を受け30日には46.59 ドル まで続伸した。一方、NYMEXのWTI総取組高は30日時点で167万枚、前月末比6万枚の増加となったが、大口投機玉の買越残高は27日で23.7万枚と前月比1.5万枚減少。買建玉も増加したが、売建玉は3.3万枚増加した。

○10月積みアラビアンライト(10月1~30日)は46.00 ドル (前月比+0.09 ドル)

熱量等価AL100% プロパン377.15 ドル/トン ブタン371.98 ドル/トン

AL比 プロパン104.73% ブタン116.94%

***上記アラビアンライトはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。**

2. 2015年11月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

| 適用期間 | T T S | P:円建CP | B:円建CP | P前月比 | B前月比 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 21~20日① | 120.87 | 45,600 | 48,300 | +4,600 | +5,200 |
| 26~25日② | 120.88 | 45,600 | 48,400 | +4,700 | +5,300 |
| 1~30日③ | 121.07 | 45,700 | 48,400 | +4,800 | +5,400 |

*T T S平均は①が9月21日~10月20日まで、②は9月26日~10月25日

③は10月1~30日、①、②、③ともに11月仕切適用。①、②、③いずれも

前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。